KURE KOSEN

National Institute of Technology (KOSEN), Kure College

呉高専だより

優勝　第５９回全国高等専門学校体育大会サッカー競技 兼
第５７回全国高等専門学校サッカー選手権

呉高専と保護者をつなぐ情報紙

84号
2025.3

目　次

●校長あいさつ ―― 2
羽ばたけ　呉高専 60 周年卒業生

●役職員あいさつ ―― 3
新しい一歩
（後援会会長　本園　和徳）

スタートアップ教育の取組み
（副校長　篠部　裕）

教務主事退任にあたって
（教務主事　中迫　正一）―― 4

今年度を振り返って
（学生主事　河村　進一）

寮生活は楽しい！だけじゃない！？
（寮務主事　黒川　岳司）

専攻科の近況
（専攻科長　間瀬　実郎）

●卒業生・修了生へ

機械工学科
機械工学科 第 5 学年 卒業おめでとうございます ―― 5
（担任　岩本　英久）

電気情報工学科
ご卒業おめでとうございます ―― 6
（担任　藤井　敏則）
（前担任　江口　正徳）

環境都市工学科
ご卒業おめでとうございます ―― 7
（担任　谷川　大輔）

建築学科
ご卒業おめでとうございます。
最後なので少しは担任らしいことを。 ―― 8
（担任　仁保　裕）

専攻科
様々な分野での新技術に興味を持ちましょう！ ―― 9
（専攻科長補　堀口　至）

●進路速報（2025 年 2 月現在） ―― 10

●部活動の成果、受賞実績 ―― 11

校長あいさつ

羽ばたけ　呉高専６０周年卒業生

校長　餘利野　直人

卒業生、修了生のみなさん、卒業・修了、おめでとうございます。呉高専は今年度60周年を迎えました。皆さんはこの節目の年に、呉高専で青春の貴重な時期を過ごされ、着実に成長し、卒業証書・修了証書を手にされました。皆さんにとっては当たり前のことかもしれませんが、多くのハードルを乗り越えてこの呉高専を卒業・修了するということは、世間一般から見れば本当に凄いことであり、価値のあることです。

この一年を振り返ると、世の中全体がやっとコロナ禍以前の形に戻り、多くの方々に体育祭や高専祭にもご来場頂けるようになりました。そこでは皆さんが競技や自由な活動に没頭し、生き生きと楽しむ姿を誇らしく思いました。また、球技大会、高専体育大会では競技に打ち込む皆さんの姿が輝いて見えました。プレコン、デザコン、プロコン、Ｇコンなど学外の活動でも様々な活躍があり、皆さんはそれぞれに一生懸命に頑張り、高い評価を得られました。ロボコンでは地区大会で優勝し、全国大会でも優勝校を打ち破るという実績を残されました。サッカー部は全国優勝の快挙を達成し60周年に華を添えてくれました。インキュベーションワークには私自身も参加し、皆さんと経験を共有できたことを嬉しく思っています。60周年の記念講演会ではJAXAから講師を招き、宇宙に関連するテーマで未来技術への取り組みをご紹介頂きました。これらは全て皆さんの素晴らしい思い出になることでしょう。

本校が創立された1964年は、まさに高度成長期の真直中でした。東京オリンピックが開催され、タイミングを合わせて新幹線の開業を成し遂げるなど、戦後日本の復興と発展を世界にアピールした記念すべき年でした。その後、世界第2位の経済大国となり世界から羨望の眼差しで見られるような大きな成長を遂げました。しかし、バブル崩壊を機に日本全体で人員削減や非正規雇用などの近視眼的なコスト削減策が横行し、結果的に多くの優秀な技術者が現場を離れ、その後はほとんど経済成長がないまま、気がつけば失われた30年と言われる状況になっています。

私には大学運営や企業の取締役の立場で組織の内情や社会の声を肌で感じる機会がありますが、日本の再生には工学系人財が不可欠という社会的認識は既に浸透し、本校には創立当初を想像させるような、人財育成への期待が集まっていると感じます。産業界では工学系人財の確保が至上命題となり、各所で人財重視の様々な取り組みが進められています。そして、皆さんへの強い期待感をいたるところで感じます。

工学を学ばれた卒業生の皆さんは、半数が就職され、残りの半数が全国の大学および本校の専攻科に進学されますが、それぞれのやり方で社会に貢献していくという気概を持って羽ばたいてほしいと思います。これからは皆さんが何を経験し、どんな能力を身に着けたかといった尺度で、技術者としてのキャリアを蓄積していくことになります。新しい環境に入れば誰もが予想外の困難に遭遇しますが、そこでしかできない貴重な経験や能力を磨き、人脈や実績を蓄積していくことができます。組織の中でも社会から見ても、あるいは仮に転職や進路変更を行う際も、このキャリアの蓄積は強力です。

60周年の節目の年に広島大学との連携も開花してきました。現時点で10の共同研究が立ち上がり、参加した3名全員が大学院に合格し、お祝いも兼ねてこの制度を「広島大学・呉高専連携大学院進学制度」と命名し、推進式を挙行しました。現在、全国的にも注目されはじめ、彼らに続く8名が双方の先生方から指導を受けています。ここで大事な事は、大学と高専が手を組むことで、それぞれの分野を先導する拠点機能が強化されるということです。私自身の経験でも大学の研究室では社会人や卒業生を受け入れ、様々な状況に柔軟に対応しています。在校生だけでなく卒業生の皆さんへの支援も含め、来年度は大学と連携して本制度のさらなる充実を検討したいと思います。

また、昨年度設置した「呉高専地域コンソーシアム」についても、これまでに90を越える会員様にご入会頂きました。地元には良い企業がたくさんあり期待も多い一方で、地元からの求人などの期待には必ずしも応えられていません。このため呉高専が企業・自治体を含めた連携活動の拠点となり、さらに上記の大学連携もリンクさせた活動が出来ないかなど検討しています。外部の方々の力を借りてインキュベーションワークなどのプロジェクト型の教育を充実させ、さらに同窓生にも門戸が開かれ、地元にも貢献できる運用形態を模索しています。皆さんには卒業後も呉高専を気にかけ、応援してほしいと思います。

最後に皆さんには是非、本校のキャッチフレーズ「Realize Your Dream」を実践してほしいと願います。夢の実現を目指して、自分も他人も幸せにできる人になってほしい、そして日本を世界一の技術立国として再生させてほしいと思います。呉高専の卒業生・修了生としての自信と誇りを忘れずに、夢の実現に向けて羽ばたいてください。

役職員あいさつ

新しい一歩

後援会会長　本園　和徳

卒業生、修了生の皆さん、卒業、修了、おめでとうございます。
今年は、自分の子供も卒業ということでやはり感慨深いものがあります。
後援会として五年間いろんな経験をさせてもらい、今年度も学校行事で、飲み物支援、豚汁支援、クラブプレゼン審査、高専祭模擬店出店、各クラブの大会の支援等、出来る範囲ですが、学生たちに貢献出来たと思います。これも、日頃から後援会活動に、ご理解とご協力を頂いている後援会会員の皆様、学校関係者の皆様のおかげです。ありがとうございました。
今年度で私は卒業となりますが、来年度も新しい会長の元、後援会活動を充実したものにしてくれると思います。引き続き、皆様のご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。
さて卒業生、修了生の皆さん。皆さんは卒業、修了という一つの区切りを迎え、次の一歩に進んでいきます。
皆さんが選んだ次の一歩は、どんな世界でしょうか。しっかりとビジョンのある世界、なんとなく選んだ世界、とりあえず選んだ世界それぞれあると思います。どんな世界でも自分が選んだ世界。責任をもって努力し、学び、遊んで、生きているという事を実感し成長してください。
そして、その中でやりがいを見つける人もいれば他にやりたいことを見つける人もいると思います。そこでさらに努力、経験を重ね成長し、自分の人生をより豊かにして下さい。
皆さんのこれからの活躍を心から応援し、楽しみにしています。

スタートアップ教育の取組み

副校長　篠部　裕

令和5年度、本校はスタートアップ教育環境整備支援事業として約１億円の事業費により校内の施設や設備の整備を行いました。令和6年度には、「インキュベーションスクエア」と「未来評価空間」で整備したこれらの設備を授業等で少しずつではありますが活用しています。
令和6年9月19日には、前年度に整備した施設・設備を、地域に公開・情報発信することを目的に、「呉高専地域コンソーシアム」のイベントとして見学会を開催しました。地元呉市から本コンソーシアムの会員22名の参加者があり、呉市でのものづくりにおいて、本校の学生・教職員と地元の企業が連携・協力するきっかけとなることを願っています。
一方、本校の学生に対しては、計6回にわたる「学科横断型授業」（集中講義、演習）を、主に1年生～3年生のロングホームルームの時間を利用して実施しました。授業は、①起業入門（起業とは、1年生）、②知財入門（著作権教育、2年生）、③経営・金融・流通（金融と経営、3年生）、④マーケティング入門（市場調査・企業研究、3年生）、⑤特許・意匠Ⅰ（概要編、本科生・専攻科生）、⑥特許・意匠Ⅱ（情報探索編、本科生・専攻科生）の6つから構成されます。
これらの講義や演習は、何れも本校学生の起業家精神（アントレプレナーシップ）を培うためのきっかけづくりとスタートしたものです。しかしながら、一個人として起業するにしても、一企業に就職するにしても、ものづくりの世界では消費者や社会のニーズ調査、関連する産業の動向の把握などは、起業に限らず、ものづくりに関わる技術者が知っておくべき必須の事項です。
このスタートアップ教育の学科横断型授業をキャリアデザイン教育の一つとして捉え、学生各自が将来の働き方、働く場所、生き方などを考えるきっかけに上手く活用してもらいたいと思います。

役職員あいさつ

教務主事退任にあたって

教務主事　中迫　正一

令和3年4月に教務主事に就任し、3月末日で任期（2期4年）を終えることとなりました。これまでお力添えをいただいた多くの皆様に心からお礼を申し上げます。

在任中は高専機構本部の第4期中期目標・中期計画の期間と重なり、様々な取り組みを進めて参りました。一例として、原級回数による退学規定や原級による再履修免除規定を見直し、学び（学習意欲）の継続を後押しする規則改正を行いました。また、平成31年度から導入された新カリキュラムへの円滑な年度更新、改訂版モデルコアカリキュラムへの対応、高専間単位互換制度の導入、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）の認定など、本校の発展に微力ながら貢献できたものと感じています。

終わりに、4月からの新体制のもと本校が益々飛躍していくことを期待いたしまして、退任の挨拶といたします。

皆様どうもありがとうございました。

今年度を振り返って

学生主事　河村　進一

私が学生主事になって3年が過ぎました。学生主事室では学生たちが将来社会へ旅立つために、大人として相手を尊重し協力し合うことができるよう、学生たちを見守り、指導してきています。具体的な指導項目は①挨拶のできる②身なりの整った③ルール・マナーを遵守できる④クラブ活動に積極的に取り組むの4項目を基本としています。学生会役員と話し合いながら、より良い学校になるよう指導してきていますが、残念ながら今年度は、学生の問題行動などで処分指導した件数が過去5年間で一番多くなってしまいました。学校として学生に寄り添いながら、早めに問題の芽を摘み、大きな問題にならないよう対応していきたいと思います。

クラブ活動では全国高専体育大会でサッカー部が優勝しました。団体競技での全国大会優勝は呉高専としては久しぶりのことで、学生のモチベーション向上につながると思います。勝つことだけが目的ではありませんが、他の競技やコンテストでもぜひ全国優勝目指して頑張ってほしいものです。

寮生活は楽しい！だけじゃない！？

寮務主事　黒川　岳司

「寮生活は楽しいです。」と言われると寮務主事としては最高に嬉しいです。

嶺陽寮は300名の仲間と過ごす共同生活の場であり、他者との関わりの中から人格形成していく成長の場です。ただ、堅苦しいのは疲れるので、周りへの思いやりを持ちながら仲間と楽しく過ごしていると、いつの間にか立派な人に！が理想です。

昨年度の事件の報告で重苦しく始まった本年度は、特に、居心地の良さ向上が一つの目標でした。今では寮生会役員・LMを中心に、自分たちで心地よい寮にしていこうという意識が芽生えており、寄せられるアイデアや要望をできるだけ形になるよう努めました。好事例をあげると、寮生会の要望で、朝の点呼のメール送信を30分早め、未回答者には再送信、「点呼未回答です」シールも導入すると、未回答者数は激減しました。

今年度も結局色々ありましたが、卒業時や卒業後に「寮生活は楽しくて、人間的にも大きく成長できました。」と振り返ってもらえるよう、今後も寮生とともに寮自体も成長させていきたいです。

専攻科の近況

専攻科長　間瀬　実郎

令和6年の専攻科は、授業での勉強はもちろん、研究活動も活発で、多くの学生が学会などで発表をしています。その中には、発表した論文に対して学会から賞を授与される学生もいました。また専攻科1年生の長期インターンシップもすべての学生が外部機関での貴重な経験をすることができました。行先は民間企業、公官庁に加え、近年では大学院でのインターンシップで、より深く研究に取り組む学生も多くいます。

令和7年度（入学者）の専攻科入試は、今年度も順調に実施できました。33名が入学する予定になっています。また広島大学・呉高専連携大学院進学制度により広島大学大学院先進理工系科学研究科を受験した専攻科生3名が合格しました。来年度はさらに多くの専攻科生が本制度により受験する予定です。

今後も学生の勉学意欲や学生生活がさらに活気が増すことを期待しております。

機械工学科

機械工学科 第5学年 卒業おめでとうございます

機械工学科5年担任　岩本　英久

御卒業おめでとうございます。謹んでお祝い申し上げます。

私は、4年次から担任を担当しました。4年次以上のクラス担当は平成29年から連続して8年間となります。私は「全員が第1志望の進路に進むこと」を目標とし、そのために、インターンシップや進路指導に力を入れました。

さて、33名の進路についてご報告します。

進学において、編入先は東京大学、千葉大学、岡山大学、愛媛大学、豊橋技術科学大学（3名）です。本校専攻科進学は10名で、編入とあわせて17名が自分の専門性にさらなる磨きをかけます。進学する学生の第1志望への合格率は100％でした。就職においては16名で、その進路先は西日本旅客鉄道（2名）、浦設計事務所、三浦工業、パナソニックエンターテインメント＆コミュニケーションズ、西日本高速道路、ダイキン工業（2名）、セイコーエプソン、神鋼テクノ、クボタ、旭化成、山崎製パン、日鉄環境エネルギーソリューション、サントリーホールディングス、本田技研工業です。ほとんどが一流の大企業で、第1志望への就職率は87.5％でした。進学と就職を総合して第1志望に進む学生は94%となりました。

今までに私が担当したクラスの進路状況と比較すると、第1志望の進路を選択できた割合は、総合で6年前のクラスが91％、4年前のクラスが73％で、2年前のクラスが53％で、今年のクラスは94％となりました。

2年前はコロナの影響で進路環境が悪化し、進学も就職も厳しくなっていましたが、今年度はかなり良くなり、コロナ前の状態に戻ったように思います。また進学割合は全体の52％であり、東京大学に進学する学生は大阪大学も受験して合格していました。

一方で、大学や専攻科を1校しか受験していない学生もおり、戦略的な受験活動を支援できていなかったことを反省しています。また年度の途中で進学から就職に切り替える学生もいましたが、第1志望に進むことができた学生が多く、安堵しております。

今年のクラスは「ミラクル」の多いクラスでしたが、呉高専で学んできたことを信じて、仲間たちとともにゆっくりと確実に人生を歩んでいただきたいと思います。卒業後もミラクルを起こしてくれることでしょう。これからもずっと応援しています。

電気情報工学科

ご卒業おめでとうございます

電気情報工学科5年担任　藤井　敏則

電気情報工学科の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

5年後期から担任を任されることとなり、とまどいながらも皆さんのおかげで、なんとか卒業まで担任をすることができました。これからの皆さんの益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

電気情報工学科前5年担任　江口　正徳

電気情報工学科5年生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。また、保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

私は、3年生から5年生の前期まで、担任を務めました。まずは、卒業まで皆さんの担任を全うすることができなかったことを心よりお詫び申し上げます。 また、後期からの担任を引き継いでいただき、最後に皆さんにメッセージを残せる機会を与えてくださいました藤井先生にこの場を借りて感謝申し上げます。

さて、私の初めての担任が皆さんでした。皆さんには、助けられることが多く、3年生のステップキャンパスから5年生の就職・進学の進路活動など、クラスとしても山あり谷あり、色々なことがありました。その都度、成長してくれた皆さんを、今、思い返すと頼もしくもあり、懐かしくも感じます。

これからそれぞれの進路に進み、自分自身の研鑽を続けていくことになります。己を磨き高めた、「こと」またその「過程」は、近い将来とは限りませんが、必ず自分はじめご家族、また社会に役立つものになります。“継続は力なり”、皆さんにとってはありきたりな言葉かもしれません。同じことでなくて構いません。継続して研鑽を積むことは容易ではありませんし、さらなる山や谷が待っていると思いますが、5年後・10年後を見据え、新しいことを積極的に取り入れ、今まで以上に励んでください。

最後になりましたが、皆さんの高専生活、進路活動に携わることができ、大変貴重な経験を積むことができました。本当にありがとうございました。皆さんのこれからの活躍をお祈り申し上げます。

環境都市工学科

ご卒業おめでとうございます

環境都市工学科5年担任　谷川　大輔

環境都市工学科5年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。5年間という本校で過ごした時間、どの様に感じたでしょうか？

コロナ禍の真っ只中に本校に入学した皆さんは、入学してすぐに学校が休校になり、クラスメイトとの親交を深める間もなくオンライン授業が始まり、とても大変な日々を入学直後から過ごされたと思います。学校に慣れる前に、社会の変化への適応を求められた皆さんは、ものすごくポジティブに捉えれば非常に貴重な経験をしたのかもしれません。また、入学してすぐにオンライン授業やオンラインミーティングを経験したことが、進路関係でのオンライン面接等にも活かされたのではないかと思っています。

年々採用活動の開始が前倒しになっていく中、皆さんの中には卒業の1年以上前に内定をもらった人もいました。売り手市場の中、皆さんの就職先が次々に決まっていったことは、担任として嬉しくもありながら、少し不安になることもありました。働き始めてからギャップを感じ、戸惑うこともあるかもしれません。それでも、自分自身で選んだ就職先に誇りを持ち、技術者としての責任を自覚しながら、仕事に取り組んでみてください。仕事を継続していくことで自分自身のスキルが向上し、将来の選択肢を広げることができます。近い将来、リクルーターとして成長した皆さんに本校でお会いできるのを楽しみにしています。

進学をする皆さんは、編入試験が終わるまでの長いプレッシャーとの戦いだったと思います。それを自分自身の力で乗り越えられたことに誇りを持ち、進学先で充実した学生生活を送ってください。編入先では元々できている学生コミュニティの中に入っていくことは中々大変だとは思いますが、高専生らしさを発揮して飛び込んでみてください。それと、高専編入生コミュニティや県人会としっかりつながりを作っておくと良いですね。

私自身、初めての4・5年担任ということもあり、色々と至らない点があったかと思います。この2年間は、皆さんと一緒に成長していくことを実感でき、充実した時間を過ごすことができました。この先、色々なことがあると思いますが、何かあれば母校やクラスメイトを頼ってみてください。これからの皆さんの活躍を期待しています。

建築学科

ご卒業おめでとうございます。最後なので少しは担任らしいことを。

建築学科5年担任　仁保　裕

ご卒業おめでとうございます。ご家族の皆様にもお祝い申し上げます。
自主性と自発性にあふれながらも節度のあるクラスであり、担任は楽でした。ありがとうございました。
最後なので担任らしく説教の一つや二つ、かまします。どうぞ最後までお付き合いください。
これまで「目の前にいる教員がOKを出せばそれでいい」でやってきた学生もいるのでは？と思います。30年前の仁保がそうでした。でも、高専卒業後、それでは全くダメってことを思い知らされました。「自分の頭で考えて、自分で行動し、その結果に対して自分が責任を持つ」…卒業すれば確実に遭遇することです。その時に何も考えられず何もできなくて、自分のダメさ加減を思い知る、でもそんな自分を認められず混乱し落ち込む。そうなる前に自分の頭で考える訓練を積んでください。積み続けてください。自分で考えられるならカッコ悪くったってOKっす。
さて、以前「本当に有能な上司は部下にも自分にも適度に甘い」という名言に感心したことがあって、今、その言葉をディスプレイの脇に貼ってます。途中を飛ばすのでわかりづらいでしょうが、仁保はこの言葉が「自己の無謬性（誤りが一切なく全て正しいこと）を信じて疑わない上司はマズい」ということにもつながると思っています。「上司である自分は無謬である」すなわち「上司である自分は一切正しい」のであれば、失敗は「部下に原因があり、全て部下の責任」であることになります。例え自身に非があろうとも、自己の無謬性が破綻しないようにと複雑怪奇な理屈をたて、その理屈をもって部下を非難し続ける…そのような大人にはならないように。
無論、制御不能なほどの大きな失敗をしないことは重要ですが、一方で、それほどでもない失敗をしたときに素早くきちんとリカバリすることも重要。失敗してこのリカバリする力を育ててください。失敗を適度に許してくれる大人の下で貴方たちが働けること、そして貴方たちがそんな適度に甘い大人に育つことを担任は願っています（あくまで「適度に」ですよ）。
最後、ドサクサでもう一つ加えますが、取れないほどの大きな責任を追及される事態に陥らないように、取れる小さな責任をきちんと果たしましょう。それが安全に生きるための知恵の一つです（掃除当番、シレっと逃げずにちゃんとやろうね）。
以上です。各自、幸せになってください。またいつか、道が交差するところで。

専攻科

様々な分野での新技術に興味を持ちましょう！

専攻科長補　堀口　至

「このたびは、呉工業高等専門学校専攻科の修了、誠におめでとうございます。皆様が積み重ねてきた努力と研鑽に、心より敬意を表します。これからの道には新たな挑戦が待っていますが、これまで培った知識と経験が必ず皆様を支えてくれるはずです。困難を恐れず、自信を持って未来へと踏み出してください。皆様のさらなる飛躍とご活躍を心よりお祈り申し上げます。改めまして、修了おめでとうございます。」

専攻科を修了される皆さまは、上の文章を読んで何か違和感を持ったでしょうか？特に何も感じなかった人が多いのでは、と思います。実は、今流行りの生成AIを用いて作った卒業生に贈るメッセージです。今さら言うまでもありませんが、技術は目覚ましい速さで進歩しています。

さて、本校の専攻科は、本科の機械、電気、環境、建築の4学科が融合された専攻であるため、異なった背景を持つ学生たちが一緒に学べる、という大きな特徴があります。専攻科の授業のPDゼミⅠ、Ⅱでは、各系の専攻科生の研究内容について触れる機会が多く、まさに専攻科を代表する授業ではなかったでしょうか？

そこで、皆さまにお聞きします。非水没円柱群、ディープラーニング、FRP、エクソソーム、微生物電気合成、FEM解析、フォトリソグラフィー、都市計画公園、これらの専門用語から、研究していた専攻科生を思い出せますか？

皆さまは、4学科が融合した専攻科に実際に在籍して、他系の専攻科生の研究に興味を持っていましたか？PDゼミには私も担当者として参加しましたが、研究発表の質疑になっても一部の専攻科生からしか質問が出ない、という場面をよく見ました。繰り返しになりますが、IT技術だけではなく、様々な分野で技術は進歩しています。世の中が更なる進歩を遂げるためには、我々、技術者は様々な新しい技術に敏感にならないといけません。

少々、説教臭くなりましたが、自戒の念も込めて、「様々な分野での新技術に興味を持つこと！」を、皆さまへの贈る言葉とさせて頂きます。これからの人生で、多くの解決困難な問題に直面していくでしょう。その時に、自分の専門分野以外の知識が、きっと問題解決の一助となってくれるはずです。人生は一生勉強です。

最後になりましたが、皆さまが専攻科で過ごした経験を活かして、社会で活躍できることを心より願っています。専攻科修了、おめでとうございます。

進路速報（2025年2月現在）

■本科卒業生　就職･進学先予定先一覧

本科就職先

企業等名 ＼ 学科	機械工学科	電気情報工学科	環境都市工学科	建築学科
国土交通省中国地方整備局			○	
広島県庁			○	
Daigasエナジー（株）			○	
JFEプラントエンジ（株）		○		
アークレイ（株）		○		
旭化成（株）	○			
アプライドマテリアルズジャパン（株）		○		
エヌ・ティ・ティ・インフラネット（株）			○	
大阪ガスマーケティング（株）				○
（株）大阪防水建設社			○	
（株）大林組				○
（株）クボタ	○			
（株）鴻池組				○
（株）大建設計				○
（株）タケウチ建設				○
（株）竹中工務店		○		○
（株）竹中土木			○	
（株）土木管理総合試験所			○	
（株）西建設計				○
（株）フジタ				○
（株）フソウ			○	
川田工業（株）			○	
関西電力（株）			○	
関西電力送配電（株）		○		
極東興和（株）			○	
五洋建設（株）			○	○
三機工業（株）				○
サントリーホールディングス（株）	○			
ショーボンド建設（株）			○	
神鋼テクノ（株）	○			
水ing（株）			○	
セイコーエプソン（株）	○			
ダイキンエアテクノ（株）				○
ダイキン工業（株）	○			
大和ハウス工業（株）				○
中国電力（株）			○	
中国電力ネットワーク（株）		○		
中部電力（株）		○	○	
電源開発（株）		○		
トーテックアメニティ（株）		○		
東京瓦斯（株）			○	
東京ガスネットワーク（株）			○	
東京水道（株）			○	
東京電力ホールディングス（株）		○	○	
戸田建設（株）			○	
西日本高速道路（株）	○		○	
西日本高速道路ファシリティーズ（株）				○
西日本旅客鉄道（株）	○	○	○	○
西松建設（株）				○
日鉄エンジニアリング（株）				○
日鉄環境エネルギーソリューション（株）	○			
日本IBM（株）		○		
日本製鉄（株）				○
日本たばこ産業（株）			○	
パーソルクロステクノロジー（株）		○		
パナソニックエンターテインメント＆コミュニケーション（株）	○			
パナソニック（株）		○		
富士通（株）			○	
本田技研工業（株）	○			
三浦工業（株）	○			
三菱地所レジデンス（株）				○
三菱重工マシナリーテクノロジー（株）			○	
三菱電機（株）電子通信システム製作所		○		
村田機械（株）		○		
森トラスト・ビルマネジメント（株）				○
山崎製パン（株）	○			
有限会社浦設計事務所	○			
ローツェ（株）		○		

本科進学先

学校名 ＼ 学科	機械工学科	電気情報工学科	環境都市工学科	建築学科
呉工業高等専門学校専攻科	○	○	○	○
愛媛大学	○			
岡山大学	○			
九州大学				○
京都工芸繊維大学				○
熊本大学		○	○	○
千葉大学	○			○
東京大学	○			
東京農工大学		○		
豊橋技術科学大学	○	○		
長岡技術科学大学		○		
広島大学		○	○	
文化服飾学院				○
室蘭工業大学				○
山口大学				○
横浜国立大学			○	○

■専攻科修了生　就職･進学先予定先一覧

企業等名
広島県庁
大阪ガス（株）
鹿島建設（株）
（株）ＭＢＭ
（株）アルモ設計
（株）出雲村田製作所
（株）エヌ・ティ・ティ エムイー
（株）ダイコーテクノ
（株）日産オートモーティブテクノロジー
（株）ヒロテック
（株）福山コンサルタント
（株）ミツトヨ
中国SC開発（株）
中国高圧コンクリート工業（株）
中電プラント（株）
東京電力ホールディングス（株）
西日本電信電話（株）
西日本旅客鉄道（株）
日本下水道事業団
マツダ（株）
三菱重工マシナリーテクノロジー（株）
三菱電機（株）　名古屋製作所
レンゴー（株）
ローツェ（株）

学校名
九州工業大学大学院
京都工芸繊維大学大学院
筑波大学大学院
東北大学大学院
豊橋技術科学大学大学院
奈良先端科学技術大学大学院
広島大学大学院
北海道大学大学院

-部活動の成果・受賞実績-

第60回中国地区高等専門学校体育大会

（団体）

種目	順位
剣道（男子）	7位
硬式野球	1回戦敗退
サッカー	Bパート　1位
柔道（男子）	3位
水泳	総合4位
ソフトテニス（男子）	2位
卓球（男子）	予選リーグBパート3位
卓球（女子）	予選リーグBパート3位
テニス（男子）	優勝
バスケットボール（男子）	予選リーグAパート4位
バスケットボール（女子）	予選リーグAパート2位
バトミントン（男子）	3位
バトミントン（女子）	入賞なし
バレーボール（男子）	3位
バレーボール（女子）	3位
ハンドボール	3位
陸上競技（男子）	総合2位
陸上競技（女子）	総合3位

（個人）

種目・順位	所属・氏名
陸上競技（男子）	
100m　7位	M3　垣内　楓牙
100m　8位	E2　清水　璃空
200m　5位	A5　髙島　凜多朗
400m　5位	A5　髙島　凜多朗
800m　6位	C4　秋田　隆之介
800m　7位	A4　花房　拓磨
1500m　3位	M1　吉田　悠矢
1500m　5位	C1　鎌田　聖矢
5000m　1位	E4　近藤　俊輔
5000m　3位	E5　砂田　拓也
110mH　3位	A3　岸　大翔
3000mSC（ランキング種目）	C4　阿良田　尊己
3000mSC　2位	C3　森宗　汰朗
3000mSC　3位	M3　齋藤　響介
4x100mR（ランキング種目）3位	E2　清水，A5　髙島 A4　中川，A4　阿地方 M3　垣内，A3　岸
4x400mR（ランキング種目）3位	A5　髙島，C4　阿良田 E4　近藤，A4　阿地方 A4　中川，M2　井口
走幅跳び　1位	A4　阿地方　蓮
走幅跳び　7位	E2　清水　璃空
砲丸投げ　2位	M4　藤代　堅斗
砲丸投げ　6位	A3　岸　大翔
円盤投げ　8位	M2　井口　泰地
やり投げ　1位	M2　井口　泰地
やり投げ　7位	C4　阿良田　尊己
陸上競技（女子）	
800m　1位	A3　齋藤　和
800m　6位	M1　多田　美央
走高跳び（ランキング種目）	A5　瀧本　菜々子
走幅跳び　4位	A5　瀧本　菜々子
走幅跳び　5位	A3　齋藤　和
砲丸投げ　4位	A5　瀧本　菜々子
卓球（男子）	
ダブルス　2位	A4　森口、C5　松下

種目・順位	所属・氏名
柔道	
男子個人66kg級　2位	M2　村上　源
男子個人無差別級　2位	M4　村岡　寛士
女子個人52kg級　1位	A2　藏本　なつみ
テニス	
男子シングルス　2位	E1　岡本　幸大
男子シングルス　3位	M3　内田　歩志
男子シングルス　3位	M2　江先　真優
男子ダブルス　1位	E1　岡本，C2　宮岡
男子ダブルス　3位	A4　山本，M4　佐々木
男子ダブルス　3位	M3　内田，M2　江先
女子シングルス　3位	C1　山田　愛子
女子ダブルス　3位	C1　山田，A1　新名
ソフトテニス	
男子ダブルス　2位	E4　藤田，M3　和泉
女子ダブルス　1位	A4　岩﨑，A4　松岡
水泳（男子）	
背泳ぎ100m　5位	E3　風藤　龍
背泳ぎ200m　2位	E3　風藤　龍
バタフライ100m　1位	C3　大野　智己
バタフライ100m　5位	C4　石部　颯己
バタフライ200m　1位	C3　大野　智己
個人メドレー200m　3位	M3　水上　凌
水泳（女子）	
自由形50m　1位	A1　川畑　美津生
自由形100m　1位	A1　川畑　美津生
自由形100m　5位	C4　三浦　琴葉
背泳ぎ100m　1位	A3　金満　二葉
背泳ぎ100m　4位	A2　百相　里花
メドレーリレー4×50m　1位	A3　金満，A2　百相 A1　川畑，C4　三浦

赤字は全国大会出場

第59回全国高等専門学校体育大会

（団体）

種目	順位
サッカー（男子）	優勝
水泳	総合6位
ソフトテニス（男子）	2回戦敗退
テニス（男子）	2回戦敗退
テニス（女子・中国地区合同チーム）	1位

（個人）

種目・順位	所属・氏名
陸上競技（男子）	
1500m　予選敗退	M1　吉田　悠矢
5000m　決勝16位	E4　近藤　俊輔
5000m　決勝敗退	E5　砂田　拓也
110mH　予選敗退	A3　岸　大翔
走幅跳び　決勝15位	A4　阿地方　蓮
砲丸投げ　決勝18位	M4　藤代　堅斗
やり投げ　決勝14位	M2　井口　泰地
3000mSC　決勝13位	C4　阿良田　尊己
4×100mR　予選敗退	E2　清水，A5　髙島 A4　中川，A4　阿地方 M3　垣内，A3　岸
4×400mR　予選敗退	A5　髙島，C4　阿良田 E4　近藤，A4　阿地方 A4　中川，M2　井口
陸上競技（女子）	
800m　決勝5位	A3　齋藤　和
走高跳び　決勝4位	A5　瀧本　菜々子
卓球（男子）	
ダブルス　予選敗退	A4　森口，C5　松下

（個人）

種目・順位	所属・氏名
柔道	
男子個人66kg級　3位	M2　村上　源
男子個人無差別級　2回戦敗退	M4　村岡　寛士
女子個人52kg級　1回戦敗退	A2　藏本　なつみ
テニス（男子）	
シングルス　1回戦敗退	E1　岡本　幸大
ダブルス　2位	E1　岡本，C2　宮岡
ソフトテニス（男子）	
ダブルス　1回戦敗退	E4　藤田，M3　和泉
ソフトテニス（女子）	
ダブルス　3位	A4　岩﨑，A4　松岡
水泳（男子）	
背泳ぎ100m　決勝8位	E3　風藤　龍
バタフライ100m　決勝1位	C3　大野　智己
バタフライ200m　決勝1位	C3　大野　智己
個人メドレー 200m　8位	M3　水上　凌
水泳（女子）	
自由形50m　決勝1位	A1　川畑　美津生
自由形100m　決勝1位	A1　川畑　美津生
背泳ぎ100m　決勝3位	A3　金満　二葉
メドレーリレー4×50m　決勝3位	A3　金満，A2　百相 A1　川畑，C4　三浦

種目・順位	所属・氏名
第31回西日本地区高等専門学校アーチェリー競技会	
30W-M　1位	M2　竹下　充輝
30W-M　1位	C2　土井　萌々香
50/30-W　2位	A2　長本　唯楓
第67回中国高等学校ソフトテニス選手権大会	
男子団体　1回戦敗退　呉高専　1　-　2　浜田高校	
第72回中国高等学校選手権水泳競技大会	
男子バタフライ100m　3位	C3　大野　智己
男子バタフライ200m　3位	C3　大野　智己
女子自由形50m　1位	A1　川畑　美津生
女子自由形100m　1位	A1　川畑　美津生
令和6年度全国高等学校総合体育大会水泳競技	
男子バタフライ100m　予選敗退	C3　大野　智己
男子バタフライ200m　予選敗退	C3　大野　智己
女子自由形50m　予選敗退	A1　川畑　美津生
女子自由形100m　予選敗退	A1　川畑　美津生
第106回全国高等学校野球選手権　広島大会	
1回戦敗退　呉高専　0　-　7　福山高校	
令和6年度中国地区高等専門学校文化連盟写真部合同合宿	
写真同好会学生9名参加	

アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2024　中国地区大会	
優勝　全国大会出場	【Aチーム】　天地無用
特別賞（本田技研工業株式会社）	【Bチーム】　神風
アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2024　全国大会	
アイデア賞	【Aチーム】　天地無用
第35回全国高等専門学校プログラミングコンテスト	
競技部門　3名出場	E3　江島，E3　吉岡，E5　城
第21回全国高等専門学校デザインコンペティション2024 in 阿南「繋」	
空間デザイン部門　優秀賞	『両城解体』
プレデザイン部門　特別賞	『沈みゆく船』
第40回中国地区高等専門学校英語弁論大会	
プレゼンテーションシングル部門 3位	A3　梅野　花梨
暗唱部門　2位	E1　小原　優愛
第47回西中国地区高専音楽祭	
吹奏楽部　出演	
第3回 高専GIRLS SDGs × Technology Contest(高専GCON2024)	
イノベーション奨励賞　「リノベンジャーズ」	
第45回西中国地区高専音楽祭	
軽音学部　出演	
第18回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト	
チーム部門　出場	

広島大学・呉高専連携大学院進学制度促進式を開催

促進式に出席した両機関関係者

令和６年１１月１２日、呉高専にて広島大学・呉高専連携大学院進学制度促進式を開催しました。

本制度は呉高専専攻科から広島大学大学院（先進理工系科学研究科）に進学するための新しい制度として、令和４年４月より検討を開始し、令和５年１月２６日に博士課程前期推薦入試に係る連携協定を締結のうえ、両機関の教員の共同研究に基づく学生と研究室とのマッチング制度化の大枠に関して合意されました。

その後、両機関における運用方法の具体的な検討や関係教員の尽力により共同研究の形態や学生の関与、評価方法など模索・試行が進められ、令和６年７月１７日に本制度により呉高専専攻科生３名が合格者として発表されるに至りました。

本制度は知り得る限り全国でも前例のない制度であり、学生の総合的能力や研究力の長期評価による大学院への進学に新しい方向性を示すものです。

今回長期的かつ具体的な実施方法が確立され合格者が出たことで、両機関における充実化のみならず他高専へのさらなる展開も始まり、他大学への波及も予想されます。

（専攻科長　間瀬　実郎）

呉高専だより 84 号　2025 年 3 月

編集・発行　呉工業高等専門学校　広報室
〒737-8506　呉市阿賀南２丁目 2-11
TEL:0823-73-8200　Mail:kouhou@kure-nct.ac.jp

呉高専公式ウェブサイト